

学校法人 東放学園

東放学園映画専門学校 殿

2022年度 学校関係者評価報告書

東放学園映画専門学校

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【教育・学校運営に関する有識者/委員長】

月野木 隆行 学校法人東放学園 元理事
学校法人東放学園 東放学園専門学校 元学校長
学校法人東放学園 東放学園映画専門学校 元学校長

【就職先及び関連業界関係者】

大和 靖典 アオイスタジオ(株) スタジオ技術部 ポストプログループ

【高等学校教諭】

阿藤 庸泰 私立東亜学園高等学校 教諭 進路指導部 主事

【卒業生(企業等委員)】

芦塚 明子 デジタル映画科 卒業生 (株)スクーターフィルムズ 取締役・プロデューサー

2. 事務局

松島 司 東放学園映画専門学校 学校長
蒲田 直樹 教務教育部 部長
青柳 高広 学務管理部 部長
高橋 秀行 学務管理部 業務主任(進路指導担当/学校評価委員)

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2022年11月12日(土)15:00～17:00 東放学園映画専門学校 (Zoomオンラインミーティング)

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

4. 学校関係者評価結果

【評定内容結果】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

I. 2021年度重点目標と達成計画について

- 重点目標1 ハイブリット教育の推進
- 重点目標2 中途退学率を減少させる
- 重点目標3 就職率の向上

コ メ ン ト	評定
・(事務局より現況説明)オンラインの授業はコロナの感染対策によって生まれたという事実があるが、これからの教育はオンラインの良さを活用して攻めるハイブリッド教育に取り組みたい。ただ学生の多くは対面授業を求めていると感じる。 ・基本は対面授業が良いと思う。ただしコロナの影響でオンライン教育が当たり前になり、それが収まったからといって完全に対面に戻すという事は無いと思う。そこで御校が取り組む新しい教育メソッドに対する取組みが気になった。家と学校を繋いでというだけでは無い活用法があると良い。 ・昨年の評価としては、コロナウイズ感染拡大期の対応としてハイブリッド教育の推進の評価をして良いのではないかと思います。しかしながら今年度に関してはまた別の評価基準になるかと思う。	4

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育人人材像

コ メ ン ト	評定
・クリエイターとして芸術肌の学生もいるとは思いますが、チームで作品づくりに携わる中で、他者と協調しつつ自分の意見を出せるような人材育成を目指してほしい。 ・就職率が高い印象があるので割と会社に所属できる学生を育てる傾向にあるのかと思う。そういった意味では学校の方針と育てている学生が合っているのではないかと感じる。 ・クリエイターを育成したいと思って人材育成してきたが、想像力豊かでクリエイティブ精神に溢れた学生であれば人間性は良いのか、今学校でどのように考えているのか。 ・(事務局より育人人材像に関して返答①) VFX専攻科の教育課程編成委員会で業界関係者に聞いた話では、人間性はともかくスキルが高ければ多少のことは目を瞑ると聞いたこともある。ただ能力は高くても編集者と上手くコミュニケーションが取れずに作品が見送りにになっているということもある。 ・(事務局より育人人材像に関して返答②) 学生の個性によって、人間力の指導に関してはアプローチを変えている。挨拶をしたほうが良いとは思いますが、一律に強制するのでは無く、その挨拶の意味を説明するための理由や意図を相手に合わせて話すようにしている。	4

基準2 学校運営

コ メ ン ト	評定
・(事務局より現況説明)(理事会、運営会議、法人本部と学校の関係性について)理事会は学校側から働きかけて行うことはほとんどないが、運営会議(部門長の会議)は月に一回、状況によって関係ある部門長だけで行う分科会も行っている。学校で問題が発生した場合は随時Sharepointやメール等で共有している。現在はコロナの感染者等の情報もGoogleフォームで共有する体制になっている。 ・色々な事をやっていると思う。これからは運営側の会議体や部門等とフィードバックしつつ校長中心に主体性を持ってやってもらいたい。	4

基準3 教育活動

コ メ ン ト	評 定
・理想の教員・職員のラインナップを考えて、少しでもそれを揃えられるような人事をしていただけたらと思う。 ・中途退学に関して危惧していた、「授業についていけなくて辞めていく」学生は一定数いるか。 ・(事務局より中途退学に関して返答)授業についていけないというのは一部ではあるが、講師に強めに言われてメンタル的に落ちてしまう学生に関してのフォローの声かけを早めにするように伝えている。また授業に遅れないように補講や短期集中講座等で進級や卒業に必要な単位数を確保できるような体制を取っている。 ・実写の監督でBlenderを使用してコンテを切っている方もいて、そういった方に仕事を振りやすいという話はあるので、映画科でも教えて良いのでは。学生側からそういった要望が出ているのであれば取り入れてもいいのではないかな。	3

基準4 学修成果

コ メ ン ト	評 定
・学修成果は就職関連の評価だけでは無いと思っているので、項目として矛盾を感じる。 ・何を以て学修成果とするのか、どう評価するのが難しい。就職することも一つの成果と言ってよいのかとは思いますが、もっと多面的にとらえても良いのでは無いかなと思う。	4

基準5 学生支援

コ メ ン ト	評 定
・(事務局より現況説明)カウンセラーに相談できる学生相談室、外部の企業に依頼して24時間電話相談ダイヤル等を設置している。 ・(企業のメンタルケアに関して)弊社では、新入社員を複数名採用していることもあり、現在は同期や先輩等年代の近いところで問題解決することが多い。その上でチーフという立場で管理する者がいて全体的にケアをしている。	4

基準6 教育環境

コ メ ン ト	評 定
・(バリアフリー化に関して)弊社では車椅子等を使用しているハンデを背負った生徒が入学することがあり、学校の入口の段差をスロープに変えたり、登校時に職員が誘導をする等の対応をしている。入学時点でそれが分かっている学生はもちろんだが、それ以外に突然怪我をする学生もいると思う。そのあたりの対応をどのようにしているか。また災害発生時の緊急避難訓練の実施や、校舎設備のメンテナンス、LED化に関して課題を感じる。 ・(事務局より環境整備に関して返答)今年度新入職員で足にハンデを持っている方を受け入れている。学校全体を見渡すとまだバリアフリー化されていない箇所もあるので対応が必要だと思っている。災害発生時に必要になる備蓄品等(地震だけでは無く)水害に関しても防水板等を用意するなどしているが完璧ではない。LED化に関しては姉妹校含めて徐々に対応しているがまだ本校に関しては進んでいない。順番に進めているので今後整備される予定である。 ・マシンスペックに関しては、昔に比べてもかなり早いサイクルで更新していかなければならない。学校としてもそういった認識をもって環境整備してほしい。 ・(事務局より機材・設備に関しての返答)基本的にはだいたい5年周期で設備・機材を入れ替えている。私学財団の助成金等を活用しながら対応していきたい。	3

基準7 学生の募集と受入れ

コ メ ン ト	評 定
・コロナの問題で留学生が激減している学校も多いと聞く。また大学との競合をする中で、実演家教員の採用などで差別化も難しくなっている。その上、受験生の中では専門学校の優先順位が低く、昨今、大学では定員を超えての受け入れも緩和されているという話も聞いている。いずれにせよ厳しい状況の中で粘り強くやっていくしかないかなと思っている。	4

基準8 財務

コ メ ン ト	評 定
・特筆すべきコメントは無し。	4

基準9 法令等の遵守

コ メ ン ト	評 定
・特筆すべきコメントは無し。	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コ メ ン ト	評 定
・関連団体は多いが、もう少し深く関わるができないか？ また地域貢献は難しいが、先日とある駅で降りた際に駅構内に専門学校の広告が掲出されていた。その学校は市と提携して様々なことをやっていると宣伝している。ひとつの事例ではあるが、そういったことに積極的に取り組むことができると良い。 ・学校によっては保育園等の施設を併設していたり、リハビリ系の学科で治療院を持っていたり、また動物関連であれば動物病院を併設するなど、地域に貢献している施設を持っているところがある。学科の特性的に難しいとは思うが、例えばキッザニアのような形で子どもたちにカメラを教える等将来のキャリアにつなげるような活動をするのはどうか。 ・小学生のためのYou Tube講座とか大変だとは思いますがやってみてもよいのでは。	3

5. 次年度課題と対応

・重点目標にハイブリッド教育の推進とあるが、対面授業減少で中途退学者率が増加しているのであれば、数値の結果としてはハイブリッドの推進と中途退学者率の減少がリンクせず逆効果だったのではないかとみえる。 ・(事務局より現況説明)実習授業等を対面に戻した際に、ソーシャルディスタンスを保つために教室を多く確保しなくてはならないという問題に直面した。そのためオンライン授業を続けざるを得ないということもあり、影響を受けた学科もある。

以上